

総合的な学習の時間 学習指導案

三次市立布野小学校
教諭 高石 洸樹

- 1 日時・場所 令和3年11月15日(月) 5校時 布野中学校木工室
- 2 学 年 第3学年 12名(男子6名 女子6名)
- 3 単 元 名 「届けよう!布野の特産品アスパラガスの魅力!」
- 4 単元設定の理由

(1) 布野中学校区が育成を目指す資質・能力

○コミュニケーション能力

(伝える力)・・・相手の伝えたいことを聞くことができる。また、課題を解決するうえで必要となる知識をもとにした自分の考えを、根拠をもって伝えることができる。

(学びの広がり)・・・自分と他者の意見をつなげて考えたり、お互いの意見を調整したりすることができる。

○主体性

自分の良さや弱点を明らかにして、何を伸ばし、何を克服するのか判断し、見通しを立てて計画的に取り組もうとしている。

○自らへの自信

探究的な課題に協働的に取り組む中で、自己の特性に気付き、自分が社会にどのように関わっていきたいのかを考えようとしている。

(2) 児童の実態

児童は、今年度から総合的な学習の時間の学習を行っている。探究的な学習のサイクルについて、1学期から実施し、少しずつ定着してきている。アスパラガスについて、毎日お世話をしたり、気になったことを調べようとしたりと興味をもっている児童が多い。

伝える力については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学級以外の場での発表経験に乏しい。相手を意識して、伝わりやすく表現する力について十分な力がついていないと難しい。学びの広がりについては、総合的な学習の時間を中心に力が高まっているといえる。課題に対して多面的に考え、友達同士で考えを交流し高め合おうとする姿がよく見られる。しかし、みんなで考えをまとめる力については十分でない。主体性については、学級全体として意欲的に学習へ取り組んでいる。課題に対して諦めず、よりよい方法を考えやりきろうとする児童が多い。自らへの自信については、課題が見られる。できるようになったことを自己認知できておらず、成長を実感できていない児童が多いことも課題であるとしている。

(3) 単元内容

3年生は、布野町の特産物であるアスパラガスを学習している。自校にアスパラガスを栽培しているビニールハウスがあり、3年生が育てている。地域のアスパラガス農家のゲストティーチャーやJAの方々にもご協力いただき、1年間を通してアスパラガスの成長を見とることができる環境ができています。

前単元では、「めざせアスパラ研究博士!」をテーマに学習を進めてきた。3年生は、アスパラガスのお世話をしたり、実際に調理して食べてみたり、三次市や布野町のアスパラガスの生産量や売上金額等の表を読み取ったりするなどの学習の中で、以下の5つの問いをもった。

- ①アスパラガスの育ち方は?
- ②アスパラガスの体のつくり・種類・歴史は?
- ③おいしいアスパラガス料理は?
- ④三次市や布野町のアスパラガスの売り上げはなぜ多いの?
- ⑤おいしいアスパラガスの育て方の工夫は?

これらの問いを解決していくため、アスパラガス農園や広域選果場へ調査に赴いたり、栄養士や家族に聞き取りをしたりするなどして解決を図ってきた。自らが方法を選び課題を解決していくという探究学習の基礎を体験しながら、主体的に学習に取り組んできた。

そこで、今単元では思考のズレに気付かせ、新たな問いをもたせながら学習を進めていく。アスパラガスの生産量や売上・作付面積・生産件数等の数値は過去5年間を見ても下がり続けている。これは生産者の高齢化やアスパラガスの市場価格の変動などが大きな要因である。このデータを読み取ることで、自分たちが学習してきたアスパラガスについての知識をどのように活用していくかを考えさせることで、プロジェクト型の学習サイクルを作り、単元を進めていく。誰に・どんな内容を・どうやって伝えるかなど、自分たちが今まで学習したことを生かしながら探究学習を進めていけるよう、教師の「なぜ人はおいしいものを求めるの?」という本質的な問いをもとに、教師側が児童の思考に沿った単元や授業の調整や修正を行うなど、幅をもった指導を行うことができる単元である。

(4) 単元の目標

- コミュニケーション能力・・・布野町の特産品であるアスパラガスの魅力を伝えるという課題の解決するために、布野町のアスパラガスについての必要な知識や相手に効果的に伝えるための技能を身に付けているとともに、伝える相手のことを考えて発表方法や発表内容などを決めて、筋道立てて伝えることができる。また、学習の際、学習のめあてをグループで確認しながら、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりして、グループとして意見をまとめながら学習を進めることができる。
- 主体性・・・探究的な学習の方法を意識しながら計画を立てたり内容を考えたりして協力しながら学習へ取り組もうとしている。
- 自らへの自信・・・アスパラガスの魅力を伝える探究学習を通して、自分ができるようになったことや成長したことなどを具体的な出来事や体験をもとにして振り返ろうとしている。

(5) 単元の学習を進める際の留意点

- 探究学習・プロジェクト型学習のやり方を理解させるために、小さな目標を積み重ねていく単元構成とし、児童に学習の進め方を定着させていくようにする。
- 単元のめあて（単元を貫く問い）を常に意識させ、何のために学習を行っているのか共有し、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。
- 体験を重視し、児童の探究活動を推進し、体感を伴った知識・技能を習得させながら学習を進めていくようにする。
- 話し合い活動の際、本時のめあてを確認させ、ねらいを意識して話し合い活動を行えるようにする。
- グループ等で活動する際、主体的・協働的に行えるように、必要な材料や資料等を手の届くところに配置するよう配慮する。その際、児童間の交流を促すよう支援の声かけを行うようにする。
- 振り返りの際、学習の到達度をルーブリックにして提示し、児童がどの程度できていると感じているか自己評価させる。その後、担任のフィードバックを行い、次時以降の学習での変容を促すようにする。

5 本単元の、布野中学校区が育成を目指す資質・能力の評価規準とルーブリック

評価の観点	布野中学校区が育成を目指す資質・能力	評価規準
知識・技能	コミュニケーション能力（伝える力）	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能を得るとともに、それらをもとにして、自分たちの考えを目的の達成に適した方法や内容

		を考え、相手に筋道立てて伝えている。
思考・判断・表現	コミュニケーション能力（学びの広がり）	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能を得るとともに、それらをもとにして、グループで話し合う際、目的や進め方を確認しながら、お互いの意見の共通点・相違点に着目して、意見をまとめたり調整したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題に対して、探究的な学習の方法を意識しながら計画を立てたり内容を考えたりするなど、主体的・協働的に学習へ取り組もうとしている。
	自らへの自信	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという探究的な課題に主体的・協働的に取り組む中で、自分ができるようになったことや成長したことなどを具体的な事例をもとにして振り返ろうとしている。

		A	B	C
コミュニケーション能力	伝える力	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能の中から、アスパラガスの魅力を伝えるために、伝える相手のことを考えて発表方法や発表内容を決めて、写真や資料など分かりやすく伝えるための手立てを自分たちで考えながら、筋道立てて伝えている。	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能の中から、アスパラガスの魅力を伝えるために、伝える相手のことを考えて発表方法や発表内容などを決めて、筋道立てて伝えている。	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能の中から、アスパラガスの魅力を伝えるために、伝える相手のことを考えて発表方法や発表内容などを決めている。
	学びの広がり	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能をもとに、学習の際、学習のめあてをグループで確認しながら、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりして、グループとして意見をまとめながら、全員が自分の役割やグループの目的を理解して学習を進めている。	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能をもとに、学習のめあてをグループで確認しながら、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりして、グループとして意見をまとめながら学習を進めている。	布野町のアスパラガスの魅力を伝えるという課題を解決するうえで必要となる知識や技能をもとに、学習の際、学習のめあてをグループで確認しながら、みんなの考えの共通点や相違点を比べている。
主体性		探究的な学習の方法を意識しながら計画を立てたり内容を考えたりして、自分たちで方法を提案しながら主体的に協力して学習へ取り組もうとしている。	探究的な学習の方法を意識しながら計画を立てたり内容を考えたりして協力しながら学習へ取り組もうとしている。	探究的な学習の方法を意識しながら計画を立て、内容を考えている。
自らへの自信		アスパラガスの魅力を伝える探究学習を通して、自分ができるようになったことや成長したこと	アスパラガスの魅力を伝える探究学習を通して、自分ができるようになったこと	アスパラガスの魅力を伝える探究学習の具体的な出来事や体験を振り返ろうとしてい

	ことなどを具体的な出来事や体験をもとにして振り返ろうとしている。また、これからにむけて自分のできることを考え、目標をもって取り組もうとしている。	や成長したことなどを具体的な出来事や体験をもとにして振り返ろうとしている。	る。
--	--	---------------------------------------	----

6 本單元における問いについて

(1) 本質的な問い

- ・なぜ人はおいしいものを求めるの？

(2) 単元を貫く問い

- ・布野のアスパラガスの魅力を多くの人に知ってもらうためにできることは？

(3) 個別の問い

※アスパラガスについての知識やアスパラガスに関連して働く人についての内容等については、前単元で学習している。

- ・布野町のアスパラガスの現状は？
- ・布野町のアスパラガスにはどんな魅力がある？
- ・アスパラガスのどんな魅力をみんなに伝える？
- ・アスパラガスの魅力を誰に伝える？
- ・アスパラガスの魅力についてどんな内容をどんな方法で伝える？
- ・アスパラガスについての探究学習を通して、どんな力がついてどんな学びがあった？

※個別の問いを解決していく過程で習得した知識や技能を活用して単元を貫く問いを解決していく。

7 PBL(プロジェクト型学習)の考え方を取り入れた課題について

(1) 課題の内容

- ・布野のアスパラガスの魅力を知ってもらうために、できることは何だろう？

(2) 発表方法

※3年生という学年の発達段階に応じて、最初の一時間にすべての計画を立てるのではなく、実際に学習を進めていく中で、発表内容・時期・方法等を具体化していく。

- ・発表日は3学期の予定。
- ・誰に向けて発表するかは、他学年・保護者・道の駅・JA・アスパラ農家のゲストティーチャーなどが想定される。発表方法や場所は、相手によって変化する。

8 指導と評価の計画 (全 21 時間)

次	学習内容		児童の探究を支えるための支援	育成される資質・能力
	探究活動	予想される児童の探究方法		
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の三次市と布野町アスパラガスの生産額・作付面積・生産家数の推移の表を読み取り、結果から、これからの学習課題を決める。(2) 	<p>【児童の思考の予想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての数値がこの5~6年で減っている。 ・なぜ減っているのだろう。 ・おいしいのになぜ販売金額が下がっているのだろう。 ・自分たちに何かできることはないかな。 	<p>○「布野町における5年間のアスパラガスの各数値の変化」の表をもとに、アスパラガスの現状を読み取らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性 ・コミュニケーション能力(学びの広がり)

		<p>布野町における 5 年間のアスパラガスの各数値の変化</p> <p>① 作付面積 H28 (2016) 507.7a → R2 (2020) 407.8a</p> <p>② 生産量 H28 (2016) 28.7t → R2 (2020) 21.9t</p> <p>③ 生産家数 H28 (2016) 24 軒 → R2 (2020) 17 軒</p> <p>④ 販売金額 H28 (2016) 3423 万 → R2 (2020) 2200 万</p>	
3 ～ 16	<p>・自分たちにできることを話し合わせて、何を伝えていくのか決定する。(2)</p> <p>・アスパラガスの魅力を伝えるために、「だれに」「いつ」「どこで」行うのか決定する。(2)</p>	<p style="text-align: center;">今まで学習したこと</p> <p>①アスパラガスの育て方 ②アスパラガスの種類・歴史・体のつくり ③おいしいアスパラガス料理 ④三次市や布野町のアスパラガスの売り上げが多い理由 ⑤おいしいアスパラガスを育てる工夫</p> <p>【児童の思考の予想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えることで地域の特産品としてアスパラガスが売れるかもしれない。 ・おいしいアスパラガス料理について知らせることで、もっと買ってほしい。 ・アスパラガスの育て方を伝えて、育てる楽しさを知ってほしい。 ・アスパラガス農家の工夫を知ってもらうことで、すごさを伝えたい。 など <p>【児童の思考の予想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅で発表をさせてもらって、買い物に来た人に知ってもらおう。 ・授業参観で発表して、布野に住んでいる人たちにまず知ってもらって、地域で問題について考えてもらおう。 ・J Aの人と協力して三次市の人たちに伝わる方法がないか聞いてみて、できるなら三次などの大きなところで発表しよう。 など 	<p style="text-align: center;">布野のアスパラガスの魅力を知ってもらうために、できることは？</p> <p>○今まで学習してきたことを振り返りながら、単元のめあてをもとに、自分たちが伝えることを考えさせる。</p> <p>○今まで学習してきたことを振り返りながら、単元のめあてをもとに、自分たちが伝えることを考えさせる。</p> <p>○単元のめあてをもとに話し合わせ、自分たちができる範囲で考えを擦り合わさせる。児童同士で納得解を出せることを目標とし、教師は、様々な選択肢に 대응できるようにあらゆる可能性を考慮しておく。</p> <p>○3年生が直接的に人に伝える活動を通して、伝えることの難しさや伝わった際の嬉しさを味わってほしいため、方法は発表となるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力（学びの広がり） ・主体性 ・コミュニケーション能力（学びの広がり） ・主体性

			<p>に仕向ける。</p> <p>○壁新聞やポスター・リーフレットなどを作成する際は、発表の補助的な物として使用する。</p>	
	<p>・伝える内容ごとにグループに分かれて、発表内容と発表方法を決定し、作成する。(6) (本時2/6)</p>	<p>【児童の思考の予想】</p> <p>発表方法</p> <p>・劇 ・ペープサート ・壁新聞 ・ポスター ・プレゼンテーション ・模造紙 など</p> <p>発表内容</p> <p>※発表するテーマにより内容が異なるが、アスパラガスの魅力が伝わるためというねらいをもとに、学習してきたことの中から決定させる。</p>	<p>○発表方法については、今まで自分たちが発表してきた方法から適切であると考えてものをグループで決定させるようにする。</p> <p>○決定の際には、単元のめあてや伝える相手や場所などから、考えて決めるという視点を与える。</p>	<p>・コミュニケーション能力（伝える力・学びの広がり）</p> <p>・主体性</p>
	<p>・アスパラガス農家のゲストティーチャーやJAの方に見ていただき、改善を行う。(4)</p>	<p>【児童の思考の予想】</p> <p>・嘘の内容を伝えたら、信用されなくなってしまう。</p> <p>・情報を伝えることって責任があるんだな。</p> <p>・今回、聞いてもらって、足りないところがわかったから改善しよう。 など</p>	<p>○相手に伝える際には、発表内容が正しいかどうか確かめることが大切なことであると理解させることを目的に行わせるようにする。</p> <p>○発表内容は適切であるか、付け足してほしい情報等ないかを児童たちが質問をできるように、発表だけでなくオープンに会話ができる場面を設ける。</p>	<p>・コミュニケーション能力（伝える力・学びの広がり）</p> <p>・主体性</p>
17 ~ 20	<p>・学習したことを発表する。</p>	<p>・単元の進み方で変わるため、詳細は明記できない。発表は基本的に対面で行い、発表についてのフィードバックをその場で味わえるようなやり方で行うことを予定している。</p>		<p>・コミュニケーション能力（伝える力）</p> <p>・主体性</p>
21	<p>・学習を通しての振り返りを行う。(1)</p>	<p>【児童の思考の予想】</p> <p>・探究的に学習してみて、自分たちで学習することや方法を考える力がついたから、これからは、先生に言われなくても自分たちで考えて勉強していこうと思った。</p> <p>・布野のアスパラガスの魅力を伝えることができてよかった。相手に伝えるために方法や内容をみんなで考え</p>	<p>・探究的な学習を行ってきて、どんなことができるようになったかを記述式で振り返らせるようにする。</p> <p>・また、コミュニケーション能力や主体性・自らへの自信についても記述式で振り返らせる</p>	<p>・自らへの自信</p> <p>・コミュニケーション能力（伝える力・学びの広がり）</p> <p>・主体性</p>

		<p>たからうまく伝えることができたと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが勉強したことをみんなに伝えるのは緊張したけど、みんなが拍手をしてくれたり「今度アスパラガスをいっぱい買って料理をするよ。」などと言ってくれたりして、やってよかったなど自信になった。 <p>など</p>	<p>ようにする。</p>	
--	--	---	---------------	--

9 本時の展開

(1) 本時の探究活動

相手にアスパラガスのみ力を伝えるために、どんな内容をどんな方法で伝えるか考える。

(2) 本時の目標

アスパラガスの魅力を伝えるための内容や方法をグループごとに話し合い決定していく活動を通して、単元のめあてや伝える相手を意識して話し合い、お互いの意見を比べたりつなげたりして、意見をまとめたり調整したりすることができる。【コミュニケーション能力：学びの広がり】

(3) 本時の評価基準

A 評価

アスパラガスの魅力を伝えるための発表内容や発表方法について、これまでに学習したアスパラガスについての知識や発表の仕方を利用して、相手意識やねらいをもとに話し合い、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりしようとしながら、グループとして意見をまとめて、全員が自分の役割やグループの目的を理解して学習を進めることができた。

B 評価

アスパラガスの魅力を伝えるための発表内容や発表方法について、これまでに学習したアスパラガスについての知識や発表の仕方を利用して、相手意識やねらいをもとに話し合い、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりしようとしながら、グループとして意見をまとめて学習を進めることができた。

C 評価

アスパラガスの魅力を伝えるための発表内容や発表方法について、これまでに学習したアスパラガスについての知識や発表の仕方を利用して、相手意識やねらいをもとに話し合い、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりしようとしながら、グループとして意見をまとめて学習を進めることができなかった。

【努力を要する状況と判断できる児童への支援】

話し合いに参加できていない児童がいた場合は、担任がそのグループに介入し、本時の評価ルーブリックを確認しながら、役割を与えさせたり話し合ったことを説明させたりして話し合いに参加させるようにする。

(4) 予想される準備物

- ・今までの学習資料 ・振り返りカード
- ・模造紙や画用紙, タブレットなどグループごとに必要な物

(5) 予想される学習展開

	<p>予想される学習内容 ※「・」は予想される児童の発言</p>	<p>児童の探究を支えるための支援と評価(・) ◆「努力を要する」状況と判断される 児童への指導の手立て</p>
<p>導入</p>	<p>○前時までに話し合ったことを交流する。 ・何のためにアスパラガスの魅力を伝えるのかを確かめました。 ・どんなことを伝えるのかの内容(発表テーマ)を決めてグループに分かれました。 ・誰に・どこで・いつ伝えるのかを決めました。 ・前の授業からは、グループごとに発表内容を詳しくすること、発表方法を決めることをしています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>め相手にアスパラガスのみ力を伝えるために、どんな内容をどんな方法で伝える？</p> </div>	<p>○本時に限らず、単元の導入時に必ず、単元のめあて(単元を貫く問い)を確認し、意識を統一させる。 ・伝えた相手にどんな風に思ってもらいたいのか、吹き出しを用意し、気持ちを考えさせることで単元のゴールのイメージを明確にさせる。</p>
<p>展開</p>	<p>○本時のルーブリックを確認し、グループごとに取り組む準備をする。 ※グループごとの内容や方法については、現時点での予想を書いている。下記のいずれも本時の時点では決定している。 【予想されるグループ】 ①アスパラガスの料理グループ ②おいしいアスパラガスの育て方グループ ③地域の生産者や選果場の紹介グループ 【予想される伝える相手】 ①道の駅のお客さんに伝えよう。 ②授業参観で保護者に伝えよう。 ③JAの人をお願いして、農業関係の人や三次市などのたくさん人がいるところで伝えよう。 ※この中のいずれか、または複数に伝える。</p> <p>○前時までに決まったことを確認し、発表内容を詳しく具体化していく。 【予想される児童の探究活動】 ①今まで作ってきた料理の作り方と味の感想をポスターにして紹介しよう。材料や料理のポイントなどがあれば、作る人がわかりやすくなるよ。 ②アスパラガス農家の工夫を伝えるなら、少し情報が足りないかも。先生にもう一度アスパラガス農家のゲストティーチャーと話ができないか聞いてみよう。</p>	<p>単元を貫く問い 【布野のアスパラガスの魅力を多くの人に知ってもらうためにできることは？】 個別の問い 【アスパラガスの魅力をどんな内容、どんな方法で伝える？】</p> <p>○本時のルーブリックをめあてのあとに確認してから、学習に取り組ませる。</p> <p>○発表内容や発表方法は、単元のめあてと伝える相手をもとに考えることを再度確認する。 ○なぜその内容にしたのか、そのような方法にしたのかを相手意識やねらいをもとに説明できるように班で意識を統一させながら行うよう指示を出す。 ○グループの活動や考えに干渉しすぎず、見守るようにする。</p>

	<p>③1年間のアスパラガスの仕事を模造紙に表にしてみよう。そうすることで、見る人が一年間の仕事の流れを一目で確認できるよ。</p> <p>○グループごとに本時の学習での進行度と次時で行うことを振り返り発表する。</p> <p>【予想される児童の発言】</p> <p>①今日の学習では、アスパラガス料理の作り方や料理のポイント・味の感想などをポスターにして紹介することを決めました。そのレイアウトを決めている途中で終わりました。</p> <p>②アスパラガス農家の工夫について、上手く伝えられなかったので、もう一度聞いてみようという話になりました。だから大前さんへの質問を考えていました。方法は、まだ決まっていません。</p> <p>③1年間のアスパラガスの仕事を模造紙にまとめて伝えることに決めました。月ごとにどんなことを書くか決めている途中で終わりました。</p>	<p>◆参加できていない児童がいたり、考えに行き詰ったグループがある場合は声かけをしたり、ここまでの活動を問いかけたりする。</p> <p>○残り時間が10分になったら、今日の学習の成果をグループで共有し、代表者が全体に伝えるように指示をする。</p> <p>○あと4時間で完成を目指すというリミットを提示し、計画的に取り組ませるようにする。</p> <p>○休憩時間に聞きに来たり、ほかのグループ同士で教え合ったりしてもよいと伝える。</p> <p>○グループごとの振り返りに対して、担任の見取りをフィードバックし、よいところを価値づけたり、次時への課題を示したりする。</p> <p>【評価】</p> <p>・アスパラガスの魅力を伝えるための発表内容や発表方法について、これまでに学習したアスパラガスについての知識や発表の仕方を活用して、相手意識やねらいをもとに話し合い、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりしようとしながら、グループとして意見をまとめて学習を進めることができた。【コミュニケーション能力：学びの広がり】</p> <p>(活動時間確保のため、6時間の授業のうち3時間目に中間の振り返り、6時間目に最終の振り返りを記述式に行わせる。すべての時間の見取りは行動の見取り評価と個人の振り返り、3時間目6時間目は上記の2つの評価方法に加え、グループでの中間・最終振り返りのシートを評価する。)</p>
<p>まとめ</p>	<p>【予想される児童の発言】</p> <p>○振り返りシートで振り返りを行う。</p> <p>・B.ねらいに向かって話し合いはできていたし、みんなの考えをまとめようとして授業に参加できたけれど、一人どうしたらよいかわからなくて困っていた人がいたので、次の時間はそう言った人にも声をかけて全員で考えられるようにする。 など</p>	<p>【評価】</p> <p>・アスパラガスの魅力を伝えるための発表内容や発表方法について、これまでに学習したアスパラガスについての知識や発表の仕方を活用して、相手意識やねらいをもとに話し合い、みんなの考えの共通点や相違点を比べたりつなげたりしよう</p>

		<p>としながら、グループとして意見をまとめて学習を進めることができた。【コミュニケーション能力：学びの広がり】</p> <p>◆話し合いに参加できていない児童がいた場合は、担任がそのグループに介入し、本時の評価ルーブリックを確認しながら、役割を与えさせたり話し合ったことを説明させたりして話し合いに参加させるようにする。</p> <p>○本時の学習の特性上、グループで話し合っただけで評価をしてもよいこととする。ただし、他の人が付けた評価に対して否定してはいけなと説明する。</p>
--	--	--

(6) 予想される板書内容

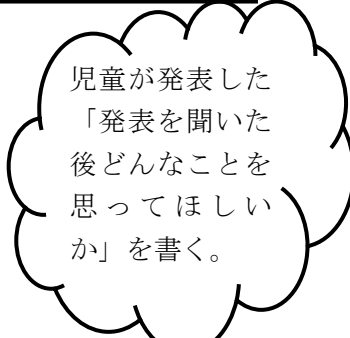
☑ 相手にアスパラガスのみ力を伝えるために、どんな内容をどんな方法で伝える？

○今まで決まったこと

身につけてほしい力
(ルーブリック評価について説明)

○今日、話し合うこと (全6時間のうち2時間目)

伝える相手の顔



児童が発表した「発表を聞いた後どんなことを思っしてほしいか」を書く。

10 実際の展開（授業後追記）

○単元の導入

単元の導入として、布野町のアスパラガス生産の5年間のデータを読み取った結果、児童たちは、布野のアスパラガス生産は存続の危機であると考えた。そうして、自分たちの力で、アスパラガスの生産者と購入者を増やすというめあてを立てた。めあてはこのようになった。

【アスパラガスのよいところを伝えて、育てる人や買う人をふやす呼びかけの達人になろう！】

このめあてに沿って学習を進めていくと、単元計画では3グループに分かれる予定であったが、実際には「生産者を増やす呼びかけをするグループ（Aグループ）」と「購入者を増やす呼びかけをするグループ（Bグループ）」の2グループに分かれた。結果として、取り組むべき課題が明確となり、今後の学習展開をスムーズに行うことができた。

○発表内容や方法の決定と取組

呼びかけの内容については、以下の通りに決まった。

Aグループは、「①アスパラガスの体のつくり」「②アスパラガスの育て方」「③アスパラガスが商品になるまで」の三つに決めた。

Bグループは、「①アスパラガスの料理レシピ」「②アスパラガスの見分け方と保存の仕方」「③アスパラガスにあるえいよう」の三つに決めた。

このように、課題を明確にしたことで、こちらの想定よりも具体的な内容にすることができていた。

発表内容についても、以下の通りに決まった。

Aグループは、「クイズ」であった。

Bグループは、「本」と「クイズ」であった。

また、同時に発表場所は道の駅に決まった。そのため、聞いている人が飽きないように参加型のクイズで説明するという考えとなった。Bグループは、レシピを本にして配りたいとして、レシピ本を作成した。

○発表内容完成後

その後、完成した呼びかけを交互に聞いてアドバイスし合い、わかりやすい呼びかけになるよう改良を加えた。（新型コロナウイルスの影響で子ども同士により発表を見合う形式に変更した）

まだ、呼びかけはできていないが、新型コロナウイルスの動向次第により、今後、道の駅布野での呼びかけを行う。（3月中旬を予定）